

令和2年度シラバス (保健体育)

学番中等3 新潟県立燕中等教育学校

教科(科目)	保健体育 (保健)	単位数	1 単位	学年(コース)	5 学年
使用教科書	大修館『最新高等保健体育』				
副教材等	大修館『最新高等保健体育ノート』				

1 学習目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

2 指導の重点

- ① 授業規律の向上 (時間を守る、課題に対して全力で学習する)
- ② 提出率の向上 (保健体育ノート)
- ③ 小テストによる単元毎の理解の確認

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	2 生涯を通じる健康 【1】生涯の各段階における健康 (ア) 思春期と健康 ・思春期における心身の発達と健康 ・性意識と性行動の選択	最新高等保健体育	思春期における心身の発達や健康問題について、特に性的成熟に伴い、心理面、行動面が変化することを中心に理解できるようにする。また、これらの変化に対応して、異性を尊重する態度が必要であること、及び性に関する情報への対処など適切な意思決定や行動選択が必要であることを理解できるようにする	2	授業態度 保健ノート 小テスト
5	(イ) 結婚生活と健康 ・健康な結婚生活 ・妊娠・出産と健康 ・家族計画と人工妊娠中絶	最新高等保健体育	健康な結婚生活について、心身の発達や健康状態など保健の立場から理解できるようにする。その際、受精、妊娠、出産とそれに伴う健康問題について理解できるようにするとともに、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響等についても理解できるようにする。	4	授業態度 保健ノート 小テスト
6 7	ウ) 加齢と健康 ・加齢こともなう心身の 変化と健康 ・高齢者のための社会的 とりくみ 【2】保健・医療制度と 地域の保健・医療機関の 活用 (ア) わが国の保健・医 療制度 (イ) 地域の保健・医療 機関の活用	最新高等保健体育	加齢に伴い、心身が変化することを形態面及び機能面から理解できるようにする。さらに、中高年の健康状態、生活状況やこれらに対する種々の施策が行われていることを取り上げるとともに、高齢社会の到来に対応して、保健・医療・福祉の連携と総合的な対策が必要であることを理解できるようにする。 わが国には人々の健康を守るための保健・医療制度が存在し、行政及びその他の機関などから保健に関する情報や医療の供給、医療費の保障も含めた保健・医療サービスなどが提供されていることを理解できるようにする	6	授業態度 保健ノート 小テスト
8 9	3 社会生活と健康 【1】環境と健康 (ア) 環境の汚染と健康	最新高等保健体育	人間の生活や産業活動に伴う大気汚染、水質汚濁、土壌汚染等は人々の健康に影響を及ぼしたり被害をもたらすことがあることを理解できるようにする。	4	授業態度 保健ノート 小テスト
10	(イ) 環境と健康の対策	最新高等保健体育	健康への影響や被害を防止するためには、環境の汚染について、発生の防止及び改善の対策が必要であることを理解できるようにする。また、そのために環境基本法などの法律等が制定され、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの対策が講じられていることを理解できるようにする。	4	授業態度 保健ノート 小テスト

11	【2】環境と食品の保健 (ア) 環境保健にかかわる活動	最新高等保健体育	上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物の処理等の環境衛生活動は、自然や社会生活における環境と健康を守るために行われていることを理解できるようにする。	4	授業態度 保健ノート 小テスト
12	(イ) 食品保健にかかわる活動 (ウ) 健康の保持増進のための環境と食品の保健	最新高等保健体育	食品の安全性の確保は、食品衛生法などに基づいて行われていることを理解できるようにする。その際、衛生管理のひとつの方法である HACCAP 方式の導入などについても触れる。 環境と食品の保健を守るためには、生産・流通・消費・廃棄の各段階での安全性が求められることを理解できるようにする。	3	授業態度 保健ノート 小テスト
1	【3】労働と健康 (ア) 職業病や労働災害と健康	最新高等保健体育	職業病や労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴いその質や量に変化してきたことを理解できるようにする。また、職場においては、自己・災害を防止するための安全管理と、働く人の健康管理が必要であることを理解できるようにする。	3	授業態度 保健ノート 小テスト
2 3	(イ) 働く人の健康の保持増進	最新高等保健体育	働く人の健康の保持増進は、職場の安全管理や健康管理と共に、心身両面にわたる総合的、積極的な対策の推進が図られることで成り立つことを理解できるようにする。	5	授業態度 保健ノート 小テスト

計35時間 (50分授業)

4 課題・提出物等

- ・単元ごとに小テストを実施し、生徒の理解度をはかる
- ・最新高等保健ノートを提出させる。

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。		
関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解、運動の技能
保健についての関心を持ち、意欲的に取り組む態度が身に付いている。	保健について思考を深め、その活用方法を適切に判断し、効果的な利用を工夫できる。	保健に関する基礎的な知識を身に付け、その役割について理解できる。
以上の観点を踏まえ、 ・授業の取組 ・小テストや最新高等保健ノートの提出 ・定期考査 などから、総合的に評価します。		

6 担当者からの一言

・保健分野は体育実技とは違い、教室での授業になりますが、自分の体のことや健康と関係のあるものを学習するため、生きるうえで最も重要な内容だと思えます。だからこそ教科書だけでなく様々な資料を用いて内容理解を図り、生涯を通して自分の健康に関心を持てるようになりましょう。

(担当：飯田拓郎)